



正面玄関「聚塵亭」の額



矢板武記念館

毎 年春になると、市の中心部に
ある1本の大きなシダレ
ザクラが咲き、多くの人々の目を楽
しませてくれます。その脇に佇む、明
治時代から時を止めたような厳かな
建物。これこそ「矢板武」氏の旧宅
です。

矢板武は当時の元勳たちと交流が
深く、山縣有朋、品川弥二郎、渋沢
栄一、勝海舟などの交流の記録が
残されています。なかでも、正面玄
関の奥に飾られた「聚塵亭」と書か
れた額は、明治14年の晩秋に勝海舟
が書いたとされています。このころ
の矢板武は、那須野が原開発のため
忙殺されており、関係者や政治家達
が絶えずこの屋敷に出入りし、活発
な議論や相談が行われていました。
この様子を勝海舟が「塵まみれに
なつて一生懸命働いている人たちが
聚まる亭」と讚え、名付けたと言わ
れています。こうした逸話が示すよ
うに、矢板武は多くの人々との出会
いや語らいを大切にし、そこから得
たヒントを基に成功を収めていた

ものと考えられています。さらに教
育の大切さを知る矢板武は、子ども
たちの教育に力を入れるなど、後進
の指導にも貢献しました。

現在では、この生家が市に寄贈さ
れ「矢板武記念館」として一般公開
されるとともに、市が行っているま
ちづくり実践塾「矢板武塾」が開催
されるなど、まちづくり教育の発信
地となっています。

川 崎城跡公園のあんどん祭り、
矢板・片岡駅前イルミネー
ション、そして秋の花火大会など、
近年市内で行われている、市民自ら
の「市民力」による活動の数々……。

塵にまみれ、皆で聚まり話し合い、
知恵を出し、イベントなどを作りあ
げていく様子は、まさに「矢板武」の
まちづくり精神が引き継がれている
のかもしれない。

【矢板武記念館】

開館時間／10時～16時 *月・火曜休館
入場料／100円(幼児等割引あり)
住所／矢板市本町15番4号
問い合わせ／☎(43)0032



矢板家の家紋

